275kV以上送電線および500／275kV変電所空容量・予想潮流一覧表

【留意事項】

(1) 運用量容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
　※１　１回線送電線（１バンク運用）のため１回線（１バンク）設備容量を記載
　※２　３回線送電線（３バンク運用）のため１回線（１バンク）故障時を考慮し２回線（２バンク）分の容量を記載
　※３　１回線（１バンク）故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
　※４　ループ系統構成（電源線を含む）を考慮

(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。

(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。

(4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
　＃１　基幹系ループ系統のため
　＃２　１バンク変電所（分割運用等含む）のため

(5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。
系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。

(6) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
　*https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html

(7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

(8) 電源線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、接続検討の中でお示しします。
　（注）電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線などの取扱いが整理されております。
　https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm

(9) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

(10) 表中の「送59」は、「275kV佐久間西幹山線」（他社送電線）です。

(11)潮流値は、アップ潮流最大時の潮流を現時点で想定される条件において算出したものであり、実際の潮流値と異なる可能性があります。

(12)個別需要が分かる専用線等や電源が１ユニットのみの電源線については第三者情報を排除するよう加工処理をしております。

(13)当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、当社は責任を負いません。

送電線Ｎｏ	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
10	三岐幹線	500	2	13,162	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.1
20	三重連絡線	500	2	5,568	3,784	熱容量	西部変電所 → 三重開閉所	664	-	不可 ＃１	-	-	-	-	※３
30	西部幹線	500	2	5,568	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.1
40	愛岐幹線	500	2	9,872	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.2
50	東部幹線	500	2	5,568	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.2
60	岐阜連絡線	500	2	6,582	3,784	熱容量	三重開閉所 → 岐阜開閉所	629	-	不可 ＃１	-	-	-	-	※３
70	越美幹線	500	2	6,582	4,936	熱容量	-	-1,200	-	不可 ＃１	-	-	-	-	※３
80	豊根幹線	500	2	12,044	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.3
90	東栄幹線	500	2	5,568	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.3
100	新三河幹線	500	2	6,582	4,936	熱容量	新三河変電所 → 三重開閉所	-2,557	-	可	0	-	-	-	※３
110	豊根連絡線	500	2	6,582	3,784	熱容量	豊根連絡	656	-	不可 ＃１	-	-	-	-	※３
120	南信幹線	500	2	6,582	4,936	熱容量	豊根開閉所 → 南信変電所	-2,493	-	可	0	-	-	-	※３
130	信濃幹線	500	2	6,582	3,784	熱容量	信濃変電所 → 豊根開閉所	-2,256	-	可	887	-	-	-	※３
140	駿遠幹線	500	2	6,582	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.4
150	静岡幹線	500	2	12,804	-	-	-	-	-	不可 ＃１	-	-	-	-	フェンスNo.4
160	静岡連絡線	500	2	6,582	3,784	熱容量	静岡変電所 → 三重開閉所	932	-	不可 ＃１	-	-	-	-	※３
170	鈴鹿幹線	275	2	3,104	1,552	熱容量	鈴鹿開閉所 → 西部変電所	-1,879	-	可	1,380	有り	-	変1	

送電線Ｎｏ	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
180	伊勢幹線	275	2	2,696	1,348	熱容量	鈴鹿開閉所 → 伊勢開閉所	-1,879	-	可	1,348	有り	-	変1	
190	伊勢南勢線	275	2	2,714	1,357	熱容量	伊勢開閉所 → 南勢変電所(2)	-803	-	可	1,357	有り	-	変1	
200	伊勢中勢線	275	2	1,320	1,056	熱容量	中勢変電所 → 伊勢開閉所	-934	-	可	264	有り	-	変1	※３
210	尾鷲伊勢線	275	2	1,320	660	熱容量	伊勢開閉所 → 尾鷲変電所	-142	-	可	660	有り	-	変1	
220	西部西名古屋線	275	2	3,620	2,525	熱容量	西名古屋変電所(1) → 西部変電所	-1,808	-	可	665	有り	-	変1	※３
230	亀山西名古屋線	275	2	1,320	1,056	熱容量	西部変電所 → 新鈴鹿変電所	-774	-	可	264	有り	-	変1	※３
240	中勢亀山線-1	275	2	1,320	1,056	熱容量	新鈴鹿変電所 → 西部変電所	-749	-	可	264	有り	-	変1	※３
241	中勢亀山線-2	275	2	1,320	1,056	熱容量	西部	0	-	可	264	有り	-	変1	※３
242	新鈴鹿分岐線	275	2	1,358	679	熱容量	西部変電所 → 新鈴鹿変電所	-749	-	可	679	有り	-	変1	
250	西部西尾張線	275	2	7,238	5,089	熱容量	海部開閉所 → 西部変電所	-3,724	-	可	0	有り	-	変1	※３
260	西名古屋西尾張線	275	2	6,858	4,675	熱容量	川越変電所 → 西部変電所	-3,344	-	可	134	有り	-	変1	※３
270	川越火力線	275	2	7,088	4,830	熱容量	西部変電所 → 川越変電所	-3,197	-	可	94	有り	-	変1	※３
280	西尾張海部線	275	2	4,226	2,113	熱容量	海部開閉所 → 西部変電所	-222	-	可	1,380	有り	-	変1	
290	海部牛島町線	275	2	1,700	850	熱容量	牛島町変電所（１） → 海部開閉所	-222	-	可	850	有り	-	変1	
300	名城松ヶ枝線	275	2	1,700	850	熱容量	西部	0	-	可	850	有り	-	変1	
310	西濃西部線	275	2	3,620	2,525	熱容量	西濃変電所（１） → 西部変電所	-523	-	可	665	有り	-	変1	※３
320	北部西濃線	275	2	3,326	2,171	熱容量	北部	0	-	可	872	-	-	-	※３

送電線Ｎｏ	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
330	北部中濃線	275	2	3,326	2,158	系統保護Ry	北部変電所 → 犬山変電所（２）	-301	-	可	885	-	-	-	※３
340	中濃犬山線-1	275	2	3,326	2,495	熱容量	北部変電所 → 犬山変電所（２）	-114	-	可	548	-	-	-	※３
341	中濃犬山線-2	275	2	3,326	2,495	熱容量	犬山変電所（２） → 北部変電所	-66	-	可	548	-	-	-	※３
350	馬瀬北部線	275	2	1,286	643	熱容量	北部変電所 → 中信変電所（２）	-458	-	可	338	-	-	-	
360	高根馬瀬線-1	275	2	1,286	643	熱容量	中信変電所（２） → 北部変電所	-314	-	可	482	-	-	-	
370	高根中信線-1	275	2	1,286	643	熱容量	中信変電所（２） → 北部変電所	-314	-	可	643	-	-	-	
380	信濃中信線	275	2	2,572	1,286	熱容量	中信変電所（１） → 信濃変電所	-221	-	可	1,286	-	-	-	
390	信濃東信線-1	275	2	5,430	4,072	熱容量	信濃変電所 → 北松本変電所	-2,108	-	可	0	-	-	-	※３
391	信濃東信線-2	275	2	5,430	4,072	熱容量	信濃変電所 → 発電所	-2,163	-	可	0	-	-	-	※３
393	北松本分岐線	275	2	3,126	1,563	熱容量	信濃変電所 → 北松本変電所	-118	-	可	1,380	-	-	-	
400	東信新北信線-1	275	2	4,726	3,220	熱容量	発電所 → 信濃変電所	-2,203	-	可	523	-	-	-	※３
410	佐久幹線	275	2	2,442	1,221	熱容量	信濃変電所 → 佐久変電所	-234	-	可	1,221	-	-	-	
430	愛知分岐線	275	2	3,620	2,715	熱容量	愛知	-549	-	可	475	-	-	-	※３
440	犬山電名線	275	2	3,620	2,525	熱容量	犬山変電所（１） → 愛知変電所	-1,366	-	可	665	-	-	-	※３
450	電名瀬戸線	275	2	4,440	3,066	熱容量	犬山変電所（１） → 愛知変電所	-581	-	可	534	-	-	-	※３
460	愛知瀬戸線	275	2	5,430	4,072	熱容量	愛知変電所 → 北豊田変電所	-1,227	-	可	23	-	-	-	※３
470	瀬戸北豊田線	275	2	5,430	4,072	安定度	北豊田変電所 → 愛知変電所	-2,003	-	可	23	-	-	-	※３

送電線Ｎｏ	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
480	東浦北豊田線-1	275	2	7,238	5,089	熱容量	東浦開閉所 → 愛知変電所	-2,200	-	可	0	-	-	-	※３
481	東浦北豊田線-2	275	2	5,430	4,072	熱容量	愛知変電所 → 東浦開閉所	-2,200	-	可	23	-	-	-	※３
490	東名古屋分岐線	275	2	2,676	1,338	熱容量	愛知	0	-	可	1,338	-	-	-	
500	知多火力東浦線	275	2	5,430	3,936	熱容量	発電所 → 東浦開閉所	-2,200	-	可	159	-	-	-	※３
510	東部北豊田線	275	2	4,732	3,122	熱容量	東部変電所 → 梅森開閉所	-927	-	可	624	有り	対象	-	※３
520	北豊田梅森線	275	2	3,126	2,136	熱容量	東部変電所 → 梅森開閉所	-927	-	可	807	有り	対象	送510	※３
530	梅森金山線	275	2	1,240	1,040	熱容量	梅森開閉所 → 松ケ枝変電所	-1,221	-	可	0	有り	対象	送510、送520	※３
540	金山松ヶ枝線	275	2	1,240	1,040	熱容量	梅森開閉所 → 松ケ枝変電所	-1,288	-	可	0	有り	対象	送510、送520、送530	※３
550	南武平町松ヶ枝線	275	2	1,200	1,040	熱容量	-	-769	-	可	0	有り	-	送510、送520、送530、送540	※３
560	下広井南武平町線	275	2	1,200	1,180	熱容量	発電所 → 梅森開閉所	-853	-	可	0	有り	-	送510、送520、送530、送540	※３
570	東海下広井線/東海松ヶ枝線	275	2/1	1,640/905	1,480	熱容量	東海下広井線:発電所 → 梅森開閉所 東海松ヶ枝線:梅森金山	354	-	可	0	有り	-	送510、送520、送530、送540	※２、※３、※４
580	知多第二東海線	275	2	1,810	1,357	熱容量	梅森金山	0	-	可	453	有り	-	送510、送520、送530、送540	※３
600	佐久間川根線	275	2	1,086	543	熱容量	川根変電所 → 東栄変電所	-427	-	可	543	有り	-	送59	
610	東名古屋東部線-1	275	2	2,040	1,530	熱容量	発電所 → 東部変電所	-2,326	-	可	0	有り	対象	-	※３
611	東名古屋東部線-2	275	2	2,040	1,530	熱容量	発電所 → 東部変電所	-2,162	-	可	0	有り	-	送610	※３
612	三好分岐線	275	2	2,442	1,221	熱容量	三好変電所（１） → 東部変電所	85	-	可	1,221	有り	-	送610	
620	知多火力線	275	2	3,496	2,217	熱容量	東部変電所 → 発電所	-2,303	-	可	911	有り	-	送610	※３

送電線Ｎｏ	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
630	三河線	275	2	3,556	2,200	熱容量	新三河変電所 → 三河変電所（1）	-2,448	-	可	958	有り	-	変5	※３
640	額田三河線	275	2	2,442	1,709	熱容量	新三河	0	-	可	733	有り	-	変5	※３
650	東部額田線-1	275	2	2,442	1,764	熱容量	額田開閉所 → 東部変電所	-1,819	-	可	678	有り	-	変5、送651	※３
651	東部額田線-2	275	2	2,442	1,764	熱容量	東部変電所 → 額田開閉所	-2,029	-	可	334	有り	対象	変5	※３
652	東豊田分岐線	275	2	1,810	905	熱容量	東部変電所 → 東豊田変電所	-48	-	可	905	有り	-	変5、送651	
660	額田幸田線	275	2	5,430	3,360	熱容量	碧南変電所（1） → 額田開閉所	-2,076	-	可	0	有り	-	変5	※３
670	幸田新三河線	275	2	3,620	2,715	熱容量	新三河変電所 → 碧南変電所（1）	-1,877	-	可	0	有り	-	変5	※３
680	幸田碧南線	275	2	5,430	3,801	熱容量	額田開閉所 → 碧南変電所（1）	-3,586	-	可	294	有り	-	変5	※３
690	湖西三河線	275	2	4,080	2,525	熱容量	発電所 → 新三河変電所	-1,843	-	可	895	有り	-	変5	※３
700	田原湖西線	275	2	4,080	2,587	熱容量	発電所 → 新三河変電所	-1,758	-	可	833	有り	-	変5	※３
710	三河遠江線	275	2	1,532	766	熱容量	遠江変電所(1) → 新三河変電所	-322	-	可	766	有り	-	変5	
720	遠江駿遠線-1	275	2	1,532	766	熱容量	遠江駿遠（駿遠側）	-230	-	可	766	-	-	-	
721	遠江駿遠線-2	275	2	1,532	766	熱容量	遠江変電所(2) → 静岡変電所	-341	-	可	766	-	-	-	
730	浜岡駿遠線	275	2	3,126	1,563	熱容量	駿遠変電所 → 新佐倉変電所	-754	-	可	1,380	-	-	-	
740	浜岡新佐倉線	275	3	1,053	513	熱容量	駿遠変電所 → 新佐倉変電所	-256	-	可	1,066	-	-	-	
750	駿遠駿河線-1	275	2	1,808	1,357	熱容量	静岡	0	-	可	451	-	-	-	
751	駿遠駿河線-2	275	2	1,808	1,357	熱容量	静岡変電所 → 駿河変電所	-902	-	可	451	-	-	-	

送電線Ｎｏ	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
752	安倍分岐線	275	2	3,620	1,810	熱容量	安倍変電所(1) → 静岡変電所	14	-	可	1,380	-	-	-	
753	駿遠駿河線-3	275	2	3,620	1,810	熱容量	静岡変電所 → 駿河変電所	-916	-	可	1,380	-	-	-	
760	駿河東清水線	275	2	2,442	1,221	熱容量	東清水変電所 → 静岡変電所	-926	-	可	1,221	-	-	-	
770	牛島町名城線	275	2	1,700	850	熱容量	海部開閉所 → 名城変電所	-63	-	可	850	有り	-	変1	
780	静岡東分岐線	275	2	3,620	2,715	熱容量	駿河変電所 → 静岡変電所	-902	-	可	475	-	-	-	
790	静岡西分岐線	275	2	2,714	2,035	熱容量	遠江変電所(2) → 静岡変電所	-112	-	可	679	-	-	-	

フェンスＮｏ	フェンス名	電圧(kV)	回線数	設備容量(100%×回線数)(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流(MW)	空容量(MW)	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量(MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
													当該設備	上位系設備	
1	10,30（三岐幹線+西部幹線）	500	-	-	5,568	熱容量	三岐幹線:三岐幹 西部幹線:三重開閉所 → 岐北開閉所	-1,723	-	-	-	-	-	-	
2	40,50（愛岐幹線+東部幹線）	500	-	-	5,568	熱容量	愛岐幹線:豊根開閉所 → 岐阜開閉所 東部幹線:東部変電所 → 三重開閉所	-519	-	-	-	-	-	-	
3	80,90（豊根幹線+東栄幹線）	500	-	-	5,568	熱容量	豊根幹線:愛知変電所 → 豊根開閉所 東栄幹線:静岡変電所 → 三重開閉所	5,723	-	-	-	-	-	-	
4	140,150（駿遠幹線+静岡幹線）	500	-	-	6,582	熱容量	駿遠幹線:静岡変電所 → 三重開閉所 静岡幹線:豊根開閉所 → 三重開閉所	321	-	-	-	-	-	-	

変電所No	変電所名	電圧（kV）		台数	設備容量（100%×台数）（MW）	運用容量値（MW）	運用容量制約要因	予想潮流（MW）	空容量（MW）	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量（MW）	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となりうる設備		備考
		一次	二次										当該設備	上位系設備	
1	西部変電所	500	275	3	2,850	2,850	熱容量	-3,685	-	可	0	有り	対象	-	※３
2	北部変電所	500	275	3	2,850	2,565	熱容量	-1,101	-	可	285	-	-	-	※３
3	愛知変電所	500	275	3	2,850	2,565	熱容量	-1,613	-	可	285	-	-	-	※３
4	東部変電所	500	275	4	4,066	4,066	熱容量	-4,568	-	可	0	-	-	-	※３
5	新三河変電所	500	275	2	2,850	2,137	熱容量	-3,018	-	可	0	有り	対象	-	※３
6	信濃変電所	500	275	3	2,850	2,150	熱容量	-2,256	-	不可	-	-	-	-	※３
7	東栄変電所	500	275	2	2,850	2,137	熱容量	-1,609	-	可	668	-	-	-	※１
8	駿遠変電所	500	275	3	2,850	2,565	熱容量	-1,481	-	可	285	-	-	-	※３
9	静岡変電所	500	275	2	1,900	1,425	熱容量	-965	-	可	475	-	-	-	※１